



とばっこ探偵団

—海からの挑戦状—

とばっこ探偵団

—海からの挑戦状—

海女さん、嘉隆、幸吉——
海に生きた鳥羽びとたちを追え！

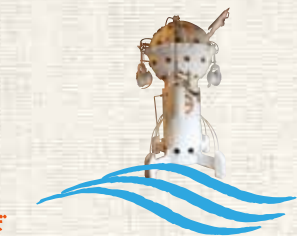


名前



鳥羽市教育委員会

鳥羽市教育委員会



鳥羽は、「海」と長く深い
かわりを持ったまちです。



く き よし た か
九鬼嘉隆



あ ま
海女



み き も と こう き ち
御木本幸吉

今の鳥羽から、昔の鳥羽へー。

さあ、本を開いて出かけましょう！

鳥羽は、昔から海とともに栄えてきたまちです。

鳥羽志摩では、2000年以上も昔から、海に潜ってアワビやサザエをとる漁が行われてきました。海女の仕事は、「小さなアワビは海にもどす」、「とる期間や場所を決める」などの約束ごとをきびしく守り、海の自然を大切にすることによって、今まで受けつがれてきたのです。

鳥羽の町の発展のもと、戦国時代、九鬼嘉隆によってつくられました。

海に面した小高い山に残る鳥羽城跡は、織田信長と豊臣秀吉に仕えて天下統一という日本の歴史に深くかかわった水軍の大將・九鬼嘉隆が、今から400年余り前に築いたのが初めといわれます。

その城は、水軍にふさわしく、大手門が海に向かって開き、堀にも海水をめぐらせて四方を水で囲んだ、全国でもめずらしい「海城」でした。

もうひとり、海を相手に大きな仕事をした人に、御木本幸吉がいます。

志摩地方の名産だった天然真珠の絶滅を心配した御木本幸吉は、人間の手で真珠を作り出すことをころざします。数々の失敗にめげず研究を続け、1893（明治26）年、世界で初めての真珠養殖に成功したのです。

静かな入り江に浮かぶ真珠いかだは、今も志摩地方の海を代表する風景のひとつになっています。

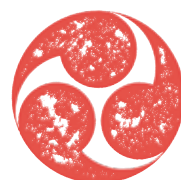
そのほか、鳥羽商船高等専門学校を創立した近藤真琴や、詩人の伊良子清白、小説『潮騒』を書いた三島由紀夫ら鳥羽ゆかりの人物は、その多くが鳥羽の海と深いかかわりがありました。

鳥羽の発展につくした人びとについて知り、郷土の歴史や暮らしについて学びましょう。

もくじ

この本の使い方	3
鳥羽市のあらまし	4
8つの小学校と学区の歴史	6
第1章 海女	8
第2章 鳥羽城と九鬼嘉隆	30
第3章 御木本幸吉と真珠	48
第4章 鳥羽のゆかりの人物	66
近藤真琴68／門野幾之進70／伊良子清白72 石原円吉74／藤原豊吉75／江戸川乱歩76 岩田準一77／梶井基次郎78／三島由紀夫79	
第5章 鳥羽の祭り	80
第6章 鳥羽の昔と今	82
年表	96

巻末 取材編集協力／写真提供／おもな参考文献



この本の使い方

1

本を開いて、鳥羽のことをもっと知ろう。

鳥羽って、どんなところかな？ 昔はどんなところだったのだろう？

この本には、「ものしりのタネ」がいっぱい、つまっているよ。

「今まで知らなかった！」ということを見つけたら、おうちの人にも教えてあげよう。



あま
海女のこと、
いろいろ
知りたいな！



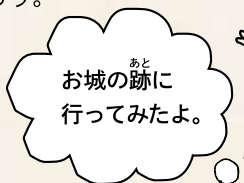
はってん
鳥羽の発展に
つくした人のこと、
知りたいな！

2

史跡や、博物館・資料館など、 「昔」が残っている場所に行ってみよう。

もっと知りたいことが出てきたら、調べに行こう。

見学したり、説明を聞いたりして「分かったこと」「気づいたこと」は付録の「とばっこものしりノート」に書き入れよう。図やスケッチを入れたり、写真をとって貼ったりして、きみだけのノートをつくろう。



あと
お城の跡に
行ってみたよ。



いろいろな船の
もけい
模型があったよ。

3

自分の住んでいる地域で、 昔からあるものをさがそう。

神社や寺、石碑や道しるべ、大きな木、祭り・行事など、昔を知る手がかりになるものを見つけ、それが、いつごろからあったのかなど、おとなの人から話を聞こう。

調べたことは、まとめておいて発表をしよう。



古い記念碑、
何のだろう？



ほん
お盆の行事、
調べてみたいな。

鳥羽市のあらし

鳥羽市は、1954（昭和29）年に1つ
の町と7つの村が合併して誕生しました。面積は107
平方キロメートルで、人口は19,239人（平成29年末現在）
です。三重県の東につき出た志摩半島のさきにあり、海をはさんで
となりの愛知県の伊良湖岬とむき合う北東部に、島々がつらなっています。

「リアス海岸」と呼ぶギザギザの海岸線が特徴で、船をとめやすい波のおだやかな
入り江には港ができました。また、ごつごつとした岩の多い磯浜が多く、海藻や魚、
貝が育ちやすいため、それらをとる海女漁が行われてきました。

陸地のうち山林が7割をこえます。たいらな土地が少ないため、昔から街を広げる
のはむずかしいことでした。定期船乗り場のある佐田浜港や中之郷港、図書館や
体育館のたつ市街地は、かつては海でしたが、埋め立てによりできました。今
は観光業のほうがかんですが、もとは漁業をする人がいちばん多く、海
をおそれ、うやまい、感謝する祭りや風習がたくさん残っています。

島々をふくめた市の全体が、伊勢志摩国立公園
に指定されています。



8つの小学校と学区の歴史

鳥羽は海や森に恵まれ、はるか昔から人々が暮らしてきたあとがあります。
 きみの学区には、どんな歴史があり、先祖たちはどう生きてきたのでしょうか。



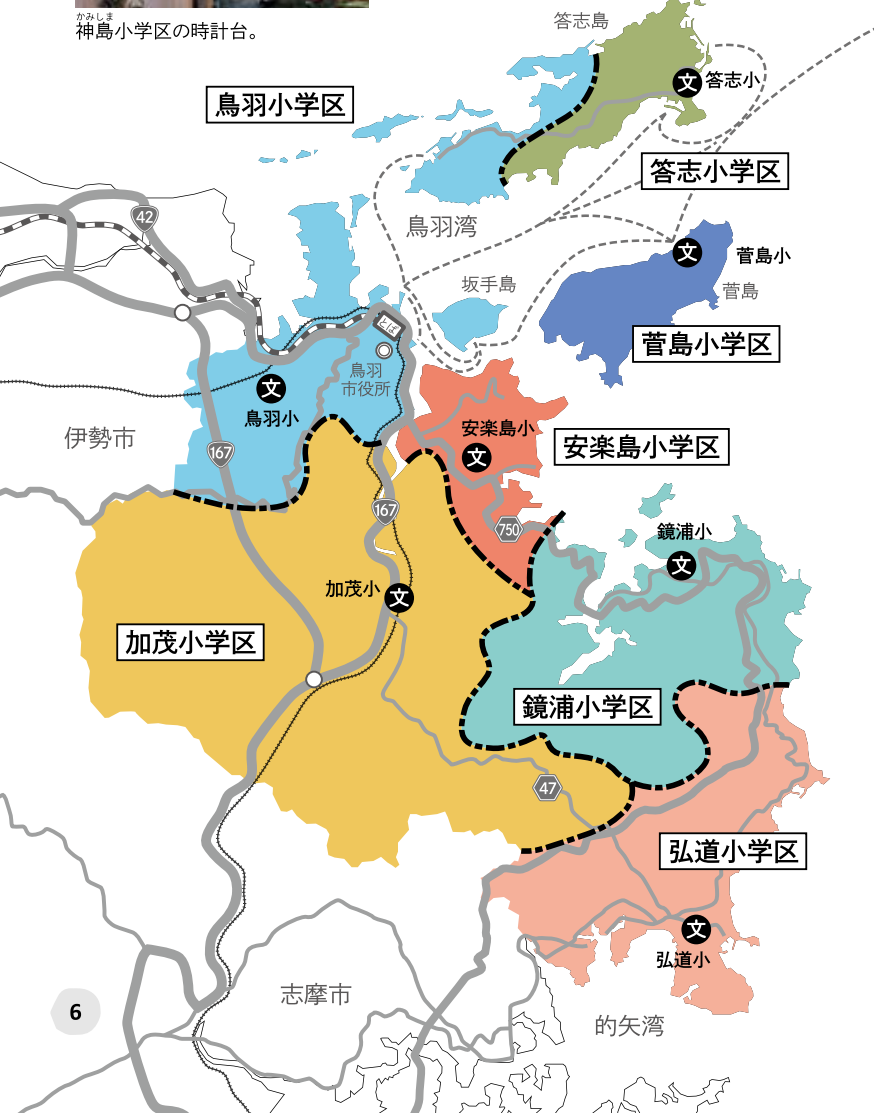
鳥羽小学区の佐田浜東公園。



答志小学区の漁港の風景。



神島小学区の時計台。



菅島小学区のツゲの紅葉の風景。



加茂小学区の農地。



安楽島小学区の鳥羽中央公園の周り。



鏡浦小学区の麻生の浦大橋。



弘道小学区の鯨崎。

鳥羽小学校

鳥羽1～5丁目、鳥羽町、堅神町、池上町、屋内町、小浜町、船津町の一部と、坂手島、答志島の桃取地区が学区です。江戸時代の鳥羽港は、江戸と大阪を行き来する船が泊まりましたが、うめ立てによってさま変わりしました。坂手や桃取は昔からの漁師町です。



答志小学校

答志島の答志と和具の2地区が学区です。権力者の墓である古墳が多く残り、縄文時代の遺跡もあります。かつては、鳥羽の島々と志摩半島の一部をあわせた志摩国答志郡の中心地だったとみられ、戦国時代に切腹した鳥羽城主九鬼嘉隆を供養する首塚と胴塚もあります。



神島小学校

佐田浜港から北東に約14kmはなれた神島全体が学区です。八代神社には、大昔の祭りで使ったらしい銅鏡などの宝物が保存されています。江戸時代は鳥羽藩が治め、海での仕事を課していました。島の形から、「甕島」と呼ばれたことが地名の由来の一つと言われます。



菅島小学校

学区は島全体の菅島町です。「須賀嶋」と別の書き方をした古い記録もあります。古墳などの遺跡がいくつもあり、大昔から人々が暮らしていたようです。幕府や伊勢神宮に納めた品の記録から、田畑が少なく漁業が中心で、船での運送業もしていたと考えられます。



加茂小学校

加茂川沿いの白木町、松尾町、岩倉町、河内町、幸丘、若杉町と、船津町の大部分が学区です。川岸に広がる平地は鳥羽ではきょうな耕作地でした。山のほうでは、まきや炭を生産していました。また、千年以上も前に都と志摩をつなぐ大事な道路がありました。



安楽島小学校

安楽島町、高丘町、大明東町、大明西町、船津町の一部が学区です。大明東町と大明西町は海や川の水をとりのぞく「干拓」によって新しくできた土地で、計画した実業家の緒明菊三郎の名前からつきました。加布良古岬にある伊射波神社は歴史のある神社です。



鏡浦小学校

生浦湾をかかえる浦村町と外海に面する石鏡町が学区です。現在、浦村はカキの養殖、石鏡は海女漁がさかんですが、昔はボラ漁やカツオ漁、クジラ漁なども行われてきました。生浦湾周辺は、平安時代から室町時代に「麻生浦」の名で都の人々の和歌によまれました。



弘道小学校

外海をのぞむ国崎町と、矢湾に沿って並ぶ相違町、畔蛸町、千賀町、堅子町の4地区が学区です。古い記録には「国崎神戸」「相佐須荘」「畔蛸御厨」と書かれ、伊勢神宮の領地でした。千賀と堅子には船で物資を運ぶ仕事をする男たちが多くいたようです。

